

生成AI(チャット GPT)の導入について

1 概要

生成AI(チャット GPT)については、本年4月以降、DX推進課において実証実験を行った結果を踏まえ、国が求めるセキュリティ基準を満たし、職員専用総合行政ネットワーク(LG-WAN)上で動作するシステムを全庁への本格導入に向けて8月下旬に実証実験を行いました。

並行して職員アンケート調査を実施し、業務利用に前向き且つ業務効率向上に寄与するとの結果が得られたことから、本年12月より本格導入しようとするものです。

2 これまでの経過

月 日	項 目	内 容
令和5年4月中旬	担当による実証実験開始	業務効率化、専門性を高めた活用、市のシステムやセキュリティ、ネットワーク等の親和性について確認
令和5年8月上旬	DX推進リーダーへの操作研修実施	生成AI知識習得、システム操作、ガイドライン周知
令和5年8月21日 ～令和5年9月1日	全庁実証実験期間	対象者800名にGPT3.5及びGPT4の利用環境を実証
令和5年8月21日 ～令和5年9月8日	実証実験に伴うアンケート調査期間	実証実験と並行し、職員アンケートを実施

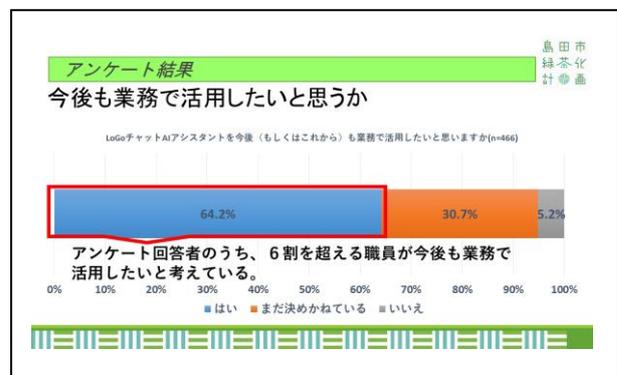
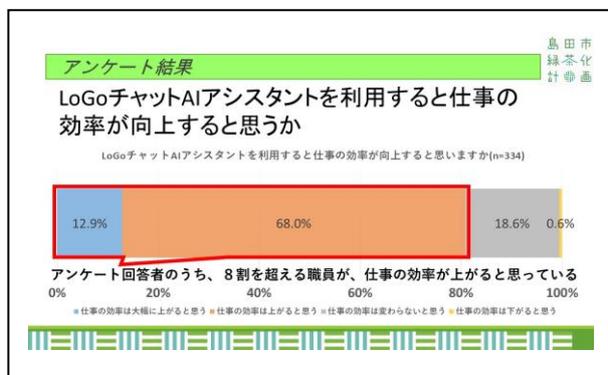
3 アンケート調査結果

職員を対象にアンケート調査を実施。

実証期間：令和5年8月21日(月)～9月1日(金) 12日間

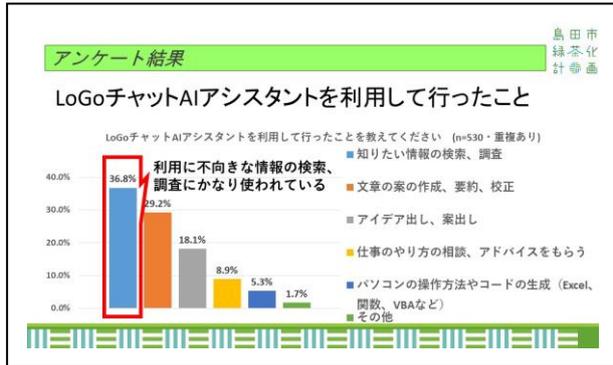
対象者：800人 アンケート回答者466人 (回答率58.25%)

消費文字数：GPT3.5約50万文字 GPT4約115万文字 ボットへの入力数：約3,000回



◎生成AIの業務利用には前向きな結果(アンケート回答者)

- ・約4割の職員がある程度利用している。
- ・8割以上の職員が、仕事の効率が向上すると感じている。
- ・6割以上の職員が、今後も生成AIを業務で活用したいと思っている。



◎利用の仕方、質問力に課題

- ・利用に不向きな情報の検索、調査に約4割が使われている。
- ・利用用途の約3割は、文章の案の作成、要約、校正が占めている。
- ・対面及びオンライン研修等により職員の質問力向上を図っていく必要がある。
- ・令和5年9月に包括連携協定を締結した、しずおか焼津信用金庫と合同で生成AI合同勉強会を開催予定(11月8日)

4 システム導入

アンケート結果等を踏まえ、必要なチャットシステムとともに全庁でシステム稼働

- ・使用エンジン：GPT-4・使用容量：上限200万文字／月
- ・個人情報検知機能を搭載し、入力した情報は学習に利用されません。
- ・令和5年度事業費：528千円（月額利用料・初期費用含む）は現計予算より流用し支出予定。
- ・システム稼働予定日：令和5年12月1日（金）

担当：DX推進課 情報政策担当
電話：0547-36-7133
メール：jouhou@city.shimada.lg.jp